

透析室の日常 こんなことやっています!

鳥谷美世枝¹⁾

要 旨：毎日（月、水、金2クール、火、木、土1クール）主にオンライン血液濾過透析（OHDF）を行っている。月2～3回の救急外来の夜勤も行っている。透析機械（コンソール）の準備・プライミング、患者の体重や内シャント状態、除水量の確認、穿刺、脱血状態やバイタルの確認、返血を行う。OHDF実施基準（月1回の透析液のエンドトキシンと生菌検査、水質管理）を満たし、加算を取得している。ゲスト透析、緊急透析、重症患者の病棟での持続的血液浄化法（CHDF）にも対応している。年間スケジュールにそって毎月の検査オーダーを入力し、毎月の定期処方カルテ記載や変更を確認し患者に伝え、食事や日常生活、導入期の患者の受け入れや指導も行っている。

キーワード：オンライン血液濾過透析（OHDF）；緊急透析；持続的血液浄化法（CHDF）

（雲南市立病院医学雑誌 2020；17(1)；印刷中

はじめに

月～土曜日まで毎日、患者1人週3回4時間の血液透析を行っています。穿刺から返血も入れると1人4.5時間くらいの時間となります。

月・水・金～2クール 8:00～業務開始、7:00～早出（1名）

火・木・土～1クール 7:30～業務開始

※併せて月2～3回の救急外来の夜勤も行っています。



図1：透析機械（コンソール）の準備・プライミング

透析室の主な流れ

◎透析準備（図1）：透析の機械（コンソール）の準備・プライミング等

◎体重測定・除水量の確認（図2）：体重増加を確認し、ドライウェイトまで除水できるか、残しがあるか確認。

◎患者の状態確認・内シャント状態確認：内シャントを聴診し、スリルも確認する。（注：内シャントは患者の命綱です。日々の観察が重要です。）

◎穿刺：穿刺困難の方はエコー下穿刺を行っています。



図2：体重測定・除水量の確認

1) 雲南市立病院看護部看護科

著者連絡先：鳥谷美世枝 雲南市立病院看護部看護科 [〒699-1221 雲南市大東町飯田 96-1]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

電話：0854-47-7500/ FAX：0854-47-7501

（受付日：2020年3月31日、受理日：2020年3月31日）



図 3：穿刺困難例へのエコー下穿刺

穿刺技術は重要です（図 3）。

◎透析開始・脱血状態確認：透析開始とともに、ダブルチェックにて条件や回路の状態、監視アラーム、静脈圧や脱血状態などを確認し、安全に透析を開始します。

◎透析中患者の状態、バイタルの観察：血圧が低下したり足が攣ったりしたとき、注射薬を使用したり除水量を下げたりして対応します（図 4）。そのほかにも患者からの訴えに対して対応し、安心・安全な透析治療を第一に行っています。透析中の排泄に関しても羞恥心を考慮し、患者の状態を見て、できるだけポータブルトイレを使用しています。高齢者が増加し、認知機



図 4：透析中患者の状態・バイタルの観察

能も低下している患者は急に動いたりするため、穿刺針が抜けないよう注意し、様子観察してベッドサイドでできるだけ見守るようにしています。急変時や状態によっては医師にコールし、対応しています。

◎返血：患者によって返血時の音楽が違います。返血時に貧血の薬など定期の注射も投与します。患者の状態も最終チェックし血圧も測ります。

◎止血：止まりにくい方など患者の状態を理解し、止血します。

※透析時間は 1 人 4 時間です。2 クールの時はこれを 2 回行います。

透析室での業務

主にオンライン血液濾過透析（OHDF）を行っています。OHDF を実施するには基準があります。使用する透析液の水質基準があり月 1 回のエンドトキシンと生菌検査をし、透析液の水質管理をしています。そして加算を取得しています（図 5）。

臨床工学士の指導の下水質管理の方法や透析監視装置の取り扱い、アラーム対処の知識、技術を身に着け機器に関しても専門性を深めています。



図 5：臨床工学士の指導下での透析液の水質管理

ゲスト透析患者の受け入れをしています。出張・旅行のため透析が必要な方の短期の受け入れも行っています。盆・正月・GW 時にゲスト透析受け入れの依頼が多くあります。

緊急透析にも対応しています。心不全・肺水腫などの患者さんの水引き（イーカム）や術後の急性腎不全やカリウムの高値の方の透析など。緊急時においてはいつでも対応しています。

多臓器不全等重症患者や術後の重傷患者等、病棟での持続的血液浄化法（CHDF）にも要請があれば対応しています。常時専用機械を置いていないため業者に機械の依頼を行います。その対応も行っています。

毎月の検査オーダーは当番を決めて、胸部レントゲン、体液バランス（インボディー）の検査や血液検査（月 2 回）等年間スケジュールにそって検査を入力しています。

毎月の定期処方医師のカルテ記載を確認し、定期処方の変更についても確認し、患者に伝えています。

検査結果において前回と比べてどうであったか説明し、食事や日常生活における生活指導も行っています。検査データが上昇しているものに関しては、心当たりを聞き、患者の状態把握も行っています。季節の変わり目などは変動することもあるため説明や指導をいつも以上に行っています。

導入期の患者指導を行っています。導入に関して患者の受け入れを行っています。

※少ない人数の中、多くの委員会活動を頑張っています。

※フットケア、糖尿病指導療法士の資格所得者、災害支援ナース、ユマニチュードなど興味ある分野においても活動し、日々の看護に活かしています。

火・木の午後の業務について

翌日の透析準備や定期薬の集計を行い薬局へ行っ

たり、看護助手がいないため、外回り業務全般も行っていきます。シーツ交換に合わせて専用バスタオルの交換や手置きのためのタオルの補充等行っていきます。掃除もしっかり行っているため、コンソール、ベッドまわりのきれいなことは自慢出来るほどです。実際に他施設の方からきれいに行っていると言われます。

コロナファイバー（CF）の応援に行っています。主にカメラの洗浄や患者対応を行っています。臨床工学士は手術にも入っています。

Daily work of dialysis center: we are doing this!

Miyoe Toya¹⁾

Abstract: We perform on-line hemodiafiltration (OHDF) every day. We also have a night shift in the emergency department twice a month. In the hemodialysis (HD) centre, we prepare the clinical dialysis machine, assess the patients' condition, confirm the shunt thrill, puncture the shunt, and observe the circulatory condition and blood return at the end of hemodialysis. Our centre sufficiently fulfils the practice criteria of OHDF and gets additional charges. We treat travellers who require dialysis and patients requiring emergency dialysis and continuous hemodiafiltration (CHDF). We examine patients every month according to set rules. We also explain and advise patients on medications and introduce HD to them.

Keywords: on-line hemodiafiltration (OHDF); emergency hemodialysis; continuous hemodiafiltration (CHDF)

1) Department of nursing care, Unnan City Hospital

Correspondence:

Miyoe Toya, Nursing department, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501